

## 中野区の☆“ものしり博士”の皆さんおめでとうございます。

第11回中野区検定は、令和6年11月24日（日）産業振興センターにおいて午前10時より、受検者59名で実施しました。

受検者のうち、高得点の10名を「ものしり博士」に認定しました。

今年は、昨年より受検者数が減少いたしましたが、受検者の皆様ご協力いただき有難うございました。

「ものしり博士」になられた10名の方は、中野区のことを理解し関心を持っていただいていることがよくわかりました。おめでとうございます。

また、惜しくも「ものしり博士」にはなれなかった方々も中野区に関心をお寄せいただきありがとうございます。

中野区検定のアンケートによると「とても難しかった」が多数を占めていました。また、ご意見の中には「寺院に関する問題が多く難しい。高齢者向けの問題が多いようなのですべての世代に向けた問題をバランスよく作ってはどうか？」のご意見もいただきました。

認定授与式は、令和7年1月10日（金）に中野区役所第605会議室で執り行いました。そして、昨年度から3回以上ものしり博士に認定されている方を「特級ものしり博士」に認定することとし、3名の方が特級になりましたが今回も1名の方が認定されました。

この検定は、中野区・中野区教育委員会に後援していただいている事もあり、来賓として区長酒井直人様、区議会議長酒井たくや様にご臨席賜りました。

区長、議長から祝辞をいただきました。

特に第1回大会のものしり博士でもある区長からは、「問題を見ていると段々問題が難しくなっている中野区検定を何回も受検し、今回区職員が特級に認定された。また区職員の新人にも受けさせており、中野区のことを知って仕事に励んでもらいたい。」との発言がありました。そして、議長からも中野区検定事業の意義や継続。また、中野区教育振興会の発展にも大きな期待を寄せていただきました。

